

1 題材名 **ジ音の練習をしよう**

・入級からの期間ではなく、題材の実施期間を書く。

本時に指導する題材について、題材を絞って具体的に書く。

2 題材について

3 児童の実態について

自立活動は、児童生徒の実態から始まるため、
実態→目標→手立ての流れで授業を組み立てる。

(1) 対象児童 **○年 女**

他校通級 週1回2単位時間 令和3年4月13日入級

(2) 題材における実態

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	(3) 言いにくい言葉があることを気にしている。		(1) ジ音の正音と側音化した音の他者弁別はできるが、自己弁別は難しい。	(3) 舌の安定はできるが、思うように舌を動かすのは難しい。	(2) イ列音、拗音が側音化構音になる。

4 題材の目標

- (1) **発語器官の運動機能を高める。【身ー(3)】**
- (2) **語音弁別力を育てる。【環ー(1)】**
- (3) **発音の改善を図る。【コー(2)】**

自立活動6区分がわかるように表に整理する。個別の教育支援計画、個別の指導計画と関連付けて記入する。

6区分の頭文字と27項目の番号【例：身ー(3)】を目標の後に明記する。

5 題材の目標を達成するための手立て

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	(3) スモールステップで課題を設定し、できるようになったことを確認することで、自信をつけるようにする。		(1) トークバックをつかったり、録音した音声を聞いたりして、自分の発音の弁別ができるようにする。	(3) お菓子を使って口の体操をし、舌の動きをよくする。	(2) 練習回数を提示することで見通しをもたせ、正音で言えた時には即時に褒め、フィードバックできるようにする。

6 題材の指導計画

項目	1年生6月～7月		9月～
発語器官の運動機能訓練	指導する題材の指導期間に合わせる。		指導する題材の前後の指導計画がある場合は、書いておく。
語音弁別訓練			
構音練習	ジ音 → 単音 → 無意味音節 → → → → →		ジャ行音

目標に合わせた項目を書く。

(書式例)

点線以下は、訪問日の2日前までに完成させて提出する。

7 本時の授業計画 (本時の指導時数/全体の指導計画時数)

(1) 本時の目標

- ・正しい構音操作で、ジ音を単音で言うことができる。【コー(2)】

(2) 展開 (90分) 13:50～15:20

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入					
展開					
終末					

通級指導の時間帯の表記は柔軟に変更可。